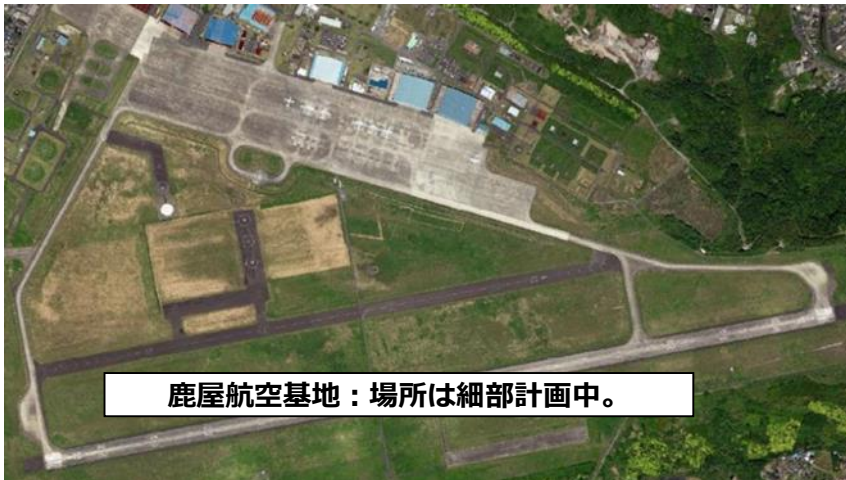


# 日米共同訓練の参加に伴う米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマースの鹿屋航空基地への一時展開について

令和8年5月  
防衛省

- 米陸軍のミサイルシステム タイフーン及びハイマース(米太平洋陸軍第3マルチドメイン・タスクフォース)が、令和8年6月から9月の間に予定されている複数の日米共同訓練に参加するため、海上自衛隊 鹿屋航空基地に一時展開する予定です。
- いずれのアセットも、本年9月に実施される共同訓練「オリエント・シールド」が終了後、撤収のための作業を経たうえで、10月中旬を目途に鹿屋航空基地より撤収され、在日米軍基地に保管されます。
- 高い機動性を有する米軍のアセットを自衛隊施設に一時展開させ、日米間で共同訓練を積み重ねることは、米軍の機動展開能力を向上させるとともに、日米の即応性や相互運用性を向上させ、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化させることに繋がるものと考えています。
- こうした意義に加えて、自衛隊の部隊運用と両立可能であること、アセットの航空輸送に必要な施設・設備を備えていること、一時展開できる地積を備えていること等を総合的に検討し、今般、鹿屋航空基地を使用することとしました。

## 展開予定場所



鹿屋航空基地：場所は細部計画中。

## 共同訓練の概要(現時点)

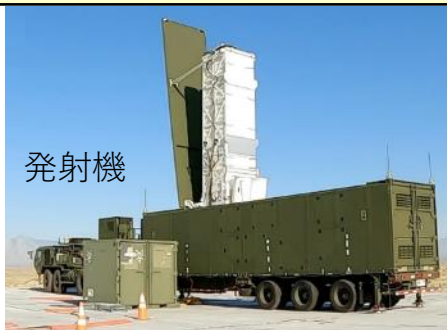
- タイフーン及びハイマースは令和8年6月22日～7月1日に実施される「ヴァリアントシールド2026」(共同対艦戦闘訓練等を実施予定)、令和8年9月「オリエント・シールド26」等に参加予定です。
- 参加する日米の部隊は、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を演練します。
- その他参加予定の共同訓練の実施要領や日米の参加部隊等については、現在、日米間で調整中です。
- なお、今般の一時展開において、タイフーン及びハイマースの実射訓練は行いません。

# (参考) タイフオン及びハイマースの概要

## タイフオン・ウェポン・システム Typhon Weapon System

## ハイマース (高機動ロケット砲システム) High Mobility Artillery Rocket System

外観



発射機

出典：米陸軍公式ホームページ



出典：米陸軍公式ホームページ

概要

全般	トマホーク及びSM-6を運用する地上発射型の長距離ミサイルシステム。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。
構成	指揮統制システム×1、発射機×2、支援器材（いずれも車両型）
展開実績	令和7年度米海兵隊等との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」において米軍岩国飛行場に一時展開

全般	米陸軍が開発した自走多連装ロケット砲。長射程ミサイル等を運用し、精密攻撃能力を有する。高い機動展開能力を有し、戦況に応じ様々な場所への展開が可能。
構成	発射機、支援機材（いずれも車両型）
展開実績	統合訓練「ヴァリアントシールド」、米海兵隊との実動訓練「レゾリュート・ドラゴン」、米陸軍との実動訓練「オリेंट・シールド」等、複数の共同訓練に参加

搭載ミサイル



出典：レイセオン社公式ホームページ

トマホーク  
(射程：約1600km)



出典：米海軍公式ホームページ

SM-6  
(射程：推定約370km)

※射程はいずれも公開ベース



出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ

GMLRS  
(射程：約70km)



出典：ロッキード・マーチン社公式ホームページ

ATACMS  
(射程：約300km)

※射程はいずれも公開ベース



# JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和8年5月22日  
統合幕僚監部

## 米国主催多国間共同訓練「ヴァリアントシールド2026」への参加について

自衛隊は、下記のとおり米国主催多国間共同訓練「ヴァリアントシールド2026」に参加します。

「ヴァリアントシールド」は、米軍が西太平洋地域において隔年で行っている実動訓練であり、令和6年から多国間共同訓練として実施されています。自衛隊は令和6年に引き続き、今回が2回目の参加となります。

本訓練への参加を通じ、戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携を強化し、インド太平洋地域における抑止力・対処力の強化を図り、我が国の防衛及び地域の平和と安定に寄与してまいります。

### 記

#### 1 訓練の目的

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携を強化し、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化する。

#### 2 実施時期

令和8年6月22日（月）～7月1日（水）

#### 3 主要実施場所

- (1) 自衛隊施設並びに在日米軍施設及び区域
- (2) 宮城県石巻市並びに鹿児島県奄美市及び大島郡龍郷町
- (3) 我が国周辺海空域
- (4) アメリカ合衆国ハワイ州パールハーバーヒッカム統合基地及びスコフィールド兵舎
- (5) アメリカ合衆国グアム島アンダーセン空軍基地及びグアム海軍基地並びに同島周辺海空域

#### 4 主要訓練項目

各種戦術訓練等

#### 5 訓練参加部隊等

##### (1) 自衛隊

統合幕僚監部、統合作戦司令部、陸上総隊、北部方面隊、東北方面隊、東部方面隊、中部方面隊、西部方面隊、自衛艦隊、航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空開発実験集団、宇宙作戦団、航空中央業務隊、航空自衛隊幹部学校、航空自衛隊補給本部、自衛隊中央病院、自衛隊入間病院等

##### (2) 米 軍

インド太平洋軍

(3) その他

一部の訓練に複数の同志国が参加予定

## 米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026への参加について

### 【訓練参加の目的】

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携強化により、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化するもの。

### 【訓練の沿革】

「ヴァリアントシールド」は、2006年から隔年で米国が実施している統合訓練（実動訓練）です。米国からの招待を受け、前回2024年に続き自衛隊及び諸外国が本訓練に参加します。

### 【訓練の実施場所】

本訓練はグアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

日本周辺においては、日本周辺海空域及び日本国内の自衛隊施設、在日米軍施設等において、各種の訓練を実施します。

米国以外の参加国の航空機・艦艇による日本への来訪は予定されていません。

### 【訓練の実施期間】

令和8年6月22日（月）～7月1日（水）の間（前後1週間程度の準備及び撤収期間）で予定しています。夜間及び土日を含む計画も一部ございますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

# 主な訓練実施場所（日本国内）

※写真はイメージです

## ⑤ 共同衛生訓練 (松島、横田、入間、横須賀、岩国等)



## ③ 共同空挺降下訓練 (北海道大演習場)



※その他、千歳、入間、南恵庭、習志野を後方支援施設として使用

## ① 共同対航空戦闘訓練 (千歳、奥尻島、車力)

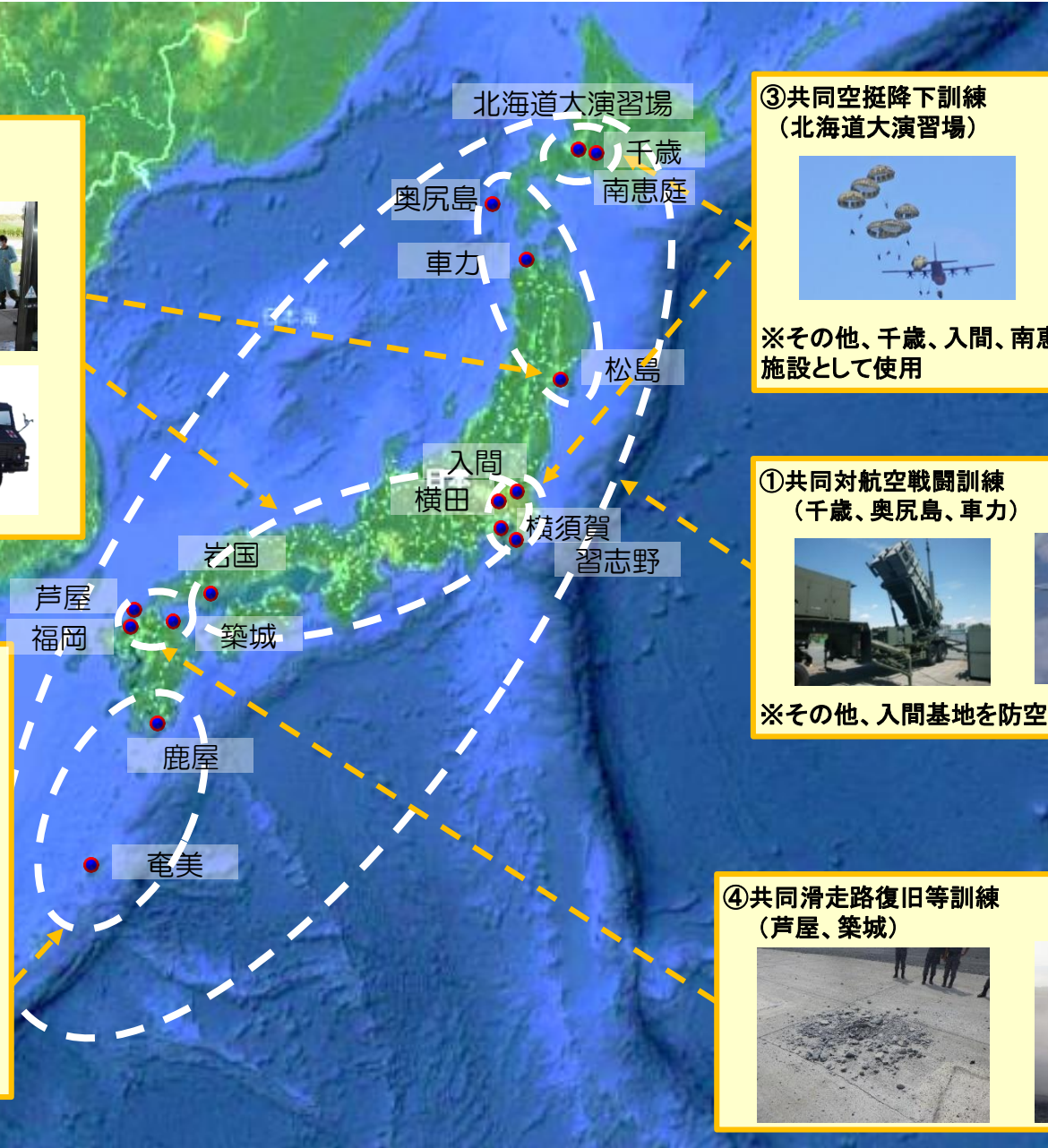


※その他、入間基地を防空指令所として使用

## ④ 共同滑走路復旧等訓練 (芦屋、築城)



## ② 共同統合対艦戦闘訓練 (奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、 奄美大島(生地)、鹿屋)



※本訓練は、日本国内の他、グアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

## 米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026における 訓練実施場所について

本訓練においては、主に以下の施設等において訓練を行う予定です。

### ① 共同対航空戦闘訓練

千歳基地、奥尻島分屯基地、車力通信所、入間基地(防空指令所)、  
春日基地飛行場地区及び米軍板付飛行場(日米空中給油機展開)

※後方支援施設:車力分屯基地(宿泊等)

### ② 共同統合対艦戦闘訓練(一部の地域においてレゾリュート・ドラゴン26の訓練項目を含む)

奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、奄美大島(奄美市及び龍郷町)の生地、鹿屋航空基地

### ③ 共同空挺降下訓練

北海道大演習場

※後方支援施設:千歳基地(着陸予備・帰投時)、入間基地(搭乗)、南恵庭・習志野駐屯地(宿泊等)

### ④ 共同滑走路復旧等訓練

芦屋基地、築城基地

### ⑤ 共同衛生訓練

岩国沖(洋上) ～ 岩国航空基地 ～ 自衛隊入間病院 ～ 横須賀米海軍病院

松島基地 ～ 横田米空軍病院、自衛隊中央病院、自衛隊仙台病院、石巻赤十字病院